

2024年4月 (No.418)

主な内容とページ

半導体世界貿易 新秩序へ	1
輸入 激減した中国のシェア	2
インドの輸入は急増	3
個別異変 中国の輸出躍進	4
米国の半導体貿易赤字が急増	5
貿易黒字では台湾がトップ	6
わが国は収支均衡	7
AI は利器それとも凶器？ (SRL だより)	8

半導体世界貿易 新秩序へ

半導体の世界貿易は、米中摩擦の激化、電動車やエネルギー関連市場の拡大を反映した新たな動きをみせている。

1. 昨年の半導体市況は低迷したが、半導体貿易はインドの輸入急増、米国の貿易収支が大幅赤字、車、エネルギー関連のパワーデバイス、個別、成熟品の増加など変化をみせた。
2. 最大の貿易国の中国は、太陽電池を含む個別、成熟品分野で輸出を強化。新たな発展策を展開している。
3. 米国は、半導体では初の大幅赤字に陥り、成熟品、車用など新たな取組が求められそうだ。

AI は利器それとも凶器？

AI ブームで半導体市場には大きなインパクトをもたらしている。発展を期待するが、AI そのものは文明の利器として使い方によってプラスをもたらす一方、マイナスの場合もある。歴史的には「銃」「車」「航空機」「ロケット」などと同様に場合によっては凶器の両側面が付いて回ろう。

例えばわが国特殊詐欺の被害額は 22 年で 400 億円弱とされるが、その防止に AI を役立てる。反対に AI を使って新たな詐欺を行う。どちらが利用法として具体的か。恐らく後者の方が早い。何故なら詐欺の被害者は多数だが、詐欺を行う側は、少数で、AI に投資できる。被害者は AI に投資するほど必要性はないだろう。

わが国に世界の AI 企業が参入を決め、その背景には欧米に比べ規制が緩いことが指摘されている。訴訟沙汰が増えているが、欧米に比べ少ない。わが国は、アップルの携帯端末や SNS の利用度合いが高いといっても市場規模は小さい。いっそ警察が詐欺防止に AI 大規模利用、世界をリード出来ないものか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2024 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2024 年 4 月(毎月 1 回発行)第 35 巻 4 号(通巻 418 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2024

SRL Monthly Report

April 2024, No.418

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円(税込み)